

福生市議会だより

FUSSA

No.129

発行 福生市議会

平成12年4月25日

〒197-8501 福生市本町5番地

☎ 042(551)1511(代表)

平成12年
第1回定例会

介護保険条例を可決

平成12年度各会計予算を可決



▲桜並木を人力車にゆられて (桜まつりにて)

近年において、アトピー性皮膚炎、気管支喘息、アレルギー性結膜炎及び花粉症等アレルギー性疾患に悩む患者・国民の数は増加の一途をたどり、いまや「国民病」となりつつある。平成七年度の厚生省の調査によれば、乳児の二十九%、幼児の三十九%、小児の三十五%、成人においては二十一%に上っている。

アレルギー性疾患対策の早期確立を求め の意見書 (全文)

その要因として、大気汚染や近年の食生活や住環境の変化における人工化学物質の多用や細菌(ダニ、カビ等)の繁殖、ストレスの増加など、さまざまなものが関与し、複雑に絡み合っていると言われ

ている。これらの疾患に悩む患者・国民は、効果的な治療法や的確な情報のないままに、深刻な苦痛から不快な症状に至るまで、さまざまな症状に悩まされ、日常生活や社会生活にも深刻な影響がもたらされている。

こうした深刻な状況を打開するためには、アレルギー性疾患発生の仕組みの解明と、より効果的な治療法の確立が一層強く求められている。政府においては、総合的なアレルギー性疾患対策の推進を図るために、下記の事項については、より強力な対策の実現を求めるものである。

一 乳幼児健診においてアレルギー検査が促進されるよう予算等の充実を図ること。

今定例会の最終日(三月二十七日)議員提出議案として次の意見書が提出・可決され、市議会議長名で関係各機関に提出されました。

意見書を可決 関係各機関に提出

こうした深刻な状況を打開するためには、アレルギー性疾患発生の仕組みの解明と、より効果的な治療法の確立が一層強く求められている。政府においては、総合的なアレルギー性疾患対策の推進を図るために、下記の事項については、より強力な対策の実現を求めるものである。

二 アレルギー性疾患の病態・原因の解明、効果的な治療法の開発推進のため、研究費の大幅増額を図ること。

三 アレルギー性疾患の研究拠点として、国立アレルギー総合センターを設置するとともに、アレルギー専門医の養成を図り、主要医療機関への「アレルギー科」の設置の拡充を促進すること。

四 人体に有害な食品添加物等の使用を減らすとともに、食品にかかわる原材料・添加物の成分、遺伝子組み換え作物の使用の有無等について、消費者にわかりやすい表示の徹底を図ること。

五 人体に有害な作用をもたらす化学物質などの住宅等への使用を止め、安全なものに転換するようにすること。

六 SOX(硫黄酸化物)、NOX(窒素酸化物)及び浮遊粒子物質等の大気汚染物質の削減対策を強化すること。

七 花粉症をもたらす杉等の樹種から花粉症の少ない樹種への転換を進めること。

平成十二年第一回定例会が、三月一日から二十七日までの二十七日間の会期で行われました。今回の定例会では、「市長の所信について」に続き、「市長の所信について」に続き、十二人の議員の一般質問が行われた後、「福生市介護保険条例」や「平成十二年度一般会計予算」等の議案や陳情等の審議が行われました。

本議会の経過

第一日目(一日)は、「市長の所信について」に続き、四人の議員の一般質問が行われました。

第二日目(二日)は、前日に引き続き七人の議員の一般質問が行われました。

第三日目(三日)は、一人の議員の一般質問が行われた後、三十二の議案と陳情書三件の審議が行われました。また、「福生病院移管対策特別委員会」及び「福生病院組合議会議員の選挙」がありました。その中で「福生市表彰条例の一部を改正する条例」を初め七件の議案については可決され、それ以外の議案と陳情書は各委員会に付託されました。

この中で、「平成十二年度一般会計予算」は予算審査特別委員会を設置して付託されました。

第四日目(二十七日)は、各委員会に審査を付託されていた議案の審査報告が行われ、議案はいずれも可決され、この中で、「平成十二年度福生市一般会計予算」等の六議案については、委員長報告に対して反対、賛成の討論が行われ、起立採決の結果、報告のとおり可決されました。

その後、当日追加提出された議員提出議案の議員定数条例、会議規則、委員会条例、議員報酬の改正条例と意見書の五件がそれぞれ可決され、今定例会を終了しました。

その後、当日追加提出された議員提出議案の議員定数条例、会議規則、委員会条例、議員報酬の改正条例と意見書の五件がそれぞれ可決され、今定例会を終了しました。

その後、当日追加提出された議員提出議案の議員定数条例、会議規則、委員会条例、議員報酬の改正条例と意見書の五件がそれぞれ可決され、今定例会を終了しました。

主な内容

可決された案件・討論	2面
12年度予算	3面
一般質問	4~6面
委員会の審査・活動、請願・陳情	7~8面

定例会の日程

2月	22日 議会運営委員会
3月	1日 会期の決定 市長の所信について 一般質問 議会運営委員会 福生病院移管対策特別委員会 2日 一般質問 議会運営委員会 3日 一般質問 議案審議 7日 平成12年度一般会計 8日 平成12年度一般会計 9日 平成12年度一般会計 13日 予算特別委員会 14日 厚生委員会 15日 建設委員会 22日 道路交通問題対策特別委員会 27日 議案の審議等 委員会審査報告 議会運営委員会

可決された案件 (要旨)

今定例会に提出された案件は三十七件で、いずれも原案どおり可決されました。

- ▼ 福生市敬老金条例の一部を改正する条例

敬老金の一律贈呈を見直すことに伴い、条例を改正するもの。
- ▼ 福生市国民健康保険条例の一部を改正する条例

国民健康保険法の一部改正に伴い、条文の整備等するもの。
- ▼ 福生市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

国民健康保険税の課税限度額の改定等を行うため、条例を改正するもの。
- ▼ 福生市下水道条例の一部を改正する条例

地方自治法改正に伴い条例を改正するもの。
- ▼ 福生市下水道使用料条例の一部を改正する条例

地方自治法改正に伴い条例を改正するもの。
- ▼ 福生市介護保険条例

介護保険法の制定に伴い必要な事項を定めるために条例を制定するもの。
- ▼ 福生市介護保険円滑導入

介護保険法の円滑な実施を図るための基金を設置する条例を制定するもの。
- ▼ 福生市介護給付費準備基金条例

介護保険財政の均衡を保つための基金を設置するため、条例を制定するもの。
- ▼ 平成十一年度福生市一般会計補正予算(第五号)

四億八千五百二十万円を増額し、予算総額を二百二十一億五千四百六千円とするもの。国からの介護保険臨時特例交付金三億五千九十九万円等が主なもの。
- ▼ 平成十一年度福生市国民健康保険特別会計補正予算(第二号)

一億三千七十一万五千円を減額し、予算総額を三十四億八千二百七十一万五千円とするもの。
- ▼ 平成十一年度福生市下水道事業会計補正予算(第三号)

六千六百七十七万三千円を減額し、予算総額を二十九億七千三百三十三万円とするもの。
- ▼ 福生市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例

地方公務員の育児休業等に関する法律の一部改正に伴い改正するもの。
- ▼ 福生市非常勤の特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

介護保険相談員等の報酬額を定めるために改正するもの。
- ▼ 福生市の一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

ホームヘルパーの職を廃止するもの。

基金条例
介護保険法の円滑な実施を図るための基金を設置する条例を制定するもの。

福生市介護給付費準備基金条例
介護保険財政の均衡を保つための基金を設置するため、条例を制定するもの。

平成十一年度福生市一般会計補正予算(第五号)
四億八千五百二十万円を増額し、予算総額を二百二十一億五千四百六千円とするもの。国からの介護保険臨時特例交付金三億五千九十九万円等が主なもの。

平成十一年度福生市国民健康保険特別会計補正予算(第二号)
一億三千七十一万五千円を減額し、予算総額を三十四億八千二百七十一万五千円とするもの。

平成十一年度福生市下水道事業会計補正予算(第三号)
六千六百七十七万三千円を減額し、予算総額を二十九億七千三百三十三万円とするもの。

福生市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例
地方公務員の育児休業等に関する法律の一部改正に伴い改正するもの。

福生市非常勤の特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
介護保険相談員等の報酬額を定めるために改正するもの。

福生市の一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
ホームヘルパーの職を廃止するもの。

民法の法律改正に伴い改正するもの

福生市表彰条例の一部を改正する条例

福生市個人情報保護条例の一部を改正する条例

福生市印鑑条例の一部を改正する条例

福生市消防団に関する条例の一部を改正する条例

地方分権による法律改正に伴い改正するもの

福生市税賦課徴収条例の一部を改正する条例

福生市手数料条例の一部を改正する条例

福生市社会教育委員の設置に関する条例の一部を改正する条例

福生市図書館協議会条例の一部を改正する条例

福生市福祉事務所設置条例の一部を改正する条例

福生市営住宅条例の一部を改正する条例

福生市都市計画審議会条例の一部を改正する条例

福生市防犯会議条例の一部を改正する条例

- ▼ 福生市議会議員定数条例の一部を改正する条例
- ▼ 福生市議会会議規則の一部を改正する規則
- ▼ 福生市議会委員会条例の一部を改正する条例
- ▼ 福生市議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例
- ▼ アレルギー性疾患対策の早期確立を求める意見書 (内容は一面に掲載)

議員提出議案

討論

今定例会の二十七日に「平成十二年度福生市一般会計予算」を初め、六議案に対して、賛成、反対の討論が行われいずれも可決されました。

ここでは、その中から「平成十二年度福生市一般会計予算」に対する討論の要旨を掲載しました。

賛成

財政状況厳しい中、経常経費を抑制し、創意と工夫による限られた財源で二十一世紀に向け新たにスタートする第三期総合計画の推進に取り組んだ予算であり、「やすらぎいきいき 輝く街 福生」づくりに向けた姿勢がよくあらわれている。また新規、レールアップ事業が数多く計上されているが、事業の拡大に伴う地方債の増加など今後公債費増に配慮願うとともに、本格的な高齢化社会に備え、

賛成

地方交付税が三十四億円余、基地交付金等は二十億円余で歳入に占めるウエイトは大きく、市税収入減の中、依存財源の増で厳しい状況だが、他市に比べ経常収支比率、公債費比率は評価できる。歳出面では柳通り等バリアフリーを

賛成

市政を取り巻く環境は大変厳しい中で、福生病院組合への負担金支出、学童クラブの増設、全小学校へのパソコン導入、小中学校の建物耐震補強事業費等計上、防災備蓄品配備、耐震性防火水槽の設置、市道の改良事業、第四市営住宅の建設、下の川緑地新設等各分野にわたり、少子高齢化情報化等の行政課題の拡充を図り、市民福祉の向上に向けてさまざまな事業が計上されている。今後とも真に必要な福祉、医療、教育等事業の充実を要望し本予算に賛成する。

反対

国は介護保険導入、年金改悪等により国民に総額二兆円の負担を押しつけ、都も福祉の切り捨てを図る中、市民を守る防波堤である市政もその役割を果たさず、老人福祉手当、敬老金等を削減し、市民負担の強化を図る一方、田園西土地地区画整理事業に財政支出を続けている。石川市政、最後の予算編成であるが、十二年間の特徴の一つは中学校給食実施問題の棚上げと、財政が厳しいと言いつつも積み立ててきた積立金問題である。市民要望を反映し賛成できる点もあるが、問題を指摘し、反対する。

第一回臨時会

平成12年第1回福生市議会臨時会は1月24日に開催され、8件の議案の審議が行われ、原案どおり可決されました。可決された議案と要旨は次のとおりです。

- ▲福生市議会の議員の期末手当の特例に関する条例

平成12年3月期の支給率を改めるもの。
- ▲福生市長等の給与に関する条例の一部を改正する条例

期末手当の支給率を改め、平成12年3月期の期末手当に限り、支給しないものとするもの。
- ▲福生市教育委員会教育長の給与及び旅費等に関する条例の一部を改正する条例

期末手当の支給率を改め、平成12年3月期の期末手当に限り、支給しないものとするもの。
- ▲福生市の一般職の職員の平成12年3月期期末手当の支給割合を定める条例

平成12年3月期の期末手当の支給率を定めるもの。
- ▲福生病院組合の設立について

新たに病院の設置や管理・運営に関する事務を共同処理する組合を設置するため。
- ▲平成11年度福生市一般会計補正予算(第4号)

職員人件費等の補正をするもの。
- ▲平成11年度福生市下水道事業会計補正予算(第2号)

職員人件費等の補正をするもの。
- ▲平成11年度福生市受託水道事業会計補正予算(第1号)

職員人件費等の補正をするもの。

「議会日誌」

▼1月	12日 東京都収益事業組合 議会臨時会	22日 議会運営委員会
	17日 議会運営委員会	23日 多摩地域農業共済事務 組合
	18日 全国市議会議長会 協議会役員会	24日 西多摩衛生組合 協議会
	20日 北海道奥尻町行政視察 来市	28日 東京都三多摩地域 物広域処分協議会
	24日 定期監査	▼3月
	26日 西多摩地域広域行政圏 協議会審議会	1日 平成12年第1回定例会 (1日目)
	27日 例月出納検査	2日 福生病院移管対策特別 委員会
▼2月	3日 神奈川県相模原市行政 視察来市	2日 平成12年第1回定例会 (2日目)
	7日 全国市議会議長会 協議会総会(4日まで)	3日 議会運営委員会
	8日 関東市議会議長会支部 長会議役員会	7日 平成12年度一般会計予 算審査特別委員会(9 日まで)
	9日 米空母艦載機飛行訓練 中止要請	13日 厚生委員会
	10日 東京都市議会議員研修 会	14日 建設委員会
	15日 全国市議会議長会 役員会	15日 総務委員会
	17日 東京都市議会議長会 総会	22日 道路交通問題対策特別 委員会
	18日 瑞穂斎場組合協議会	27日 平成12年第1回定例会 (4日目)
	22日 東京都市町村協議会 協議会	28日 議会運営委員会(市議 会だより編集会議) 例月出納検査
	22日 西多摩地域広域行政圏 協議会審議会	





▲賛成多数で新しい予算を可決

平成12年度

予算の概要

平成十二年度一般会計の予算総額は二百七十七億七千三百二十五万九千円、前年度と比較し二・八％の増となっている。その主な理由は、継続事業として取り組む第四市営住宅建て替え事業費の増、田園西土地画整理事業の延伸、西多摩衛生組合負担金の増等によるものとなっている。

歳入は、景気回復の遅れ、リストラなどの影響から、市税は、前年度より一・四パーセントの減となっている。

なお、国民健康保険税については、課税限度額を四十六

一般会計予算の審査が

万円から五十万円に引き上げ、また道路占用料についても十二年度から改定することとしている。

歳出については、福生病院の一部事務組合化に伴う負担金や介護保険への対応、少子高齢化施策推進、これまで開館した大規模施設に係る経常経費等歳出増加要因があり、行政改革の徹底、職員人件費削減、補助金等抑制、事務事業見直しによる効率的な行政運営推進、行政サービスの維持向上に努めるとしている。

万八千円、補助額は二億三千三百三十九万八千円。そのほか航空機騒音測定等に要する経費約三百七十八万八千円である。

市民税の歳入減 見直しはどうか

問 市民税個人分は前年度比七・八％減、法人市民税は前年度比十一・六％減だが、十一年度の見込みは、

答 定率減税の影響によるもので、最終的には同額になるものと見込んでいる。法人市民税も今定例会で補正予算を計上しているが、三・三％程度の落ち込みにとどまるのではないかとみている。

者の八割は元気な方とも言われ、介護状態にならない、生きがいをもった生活ができるような施策が一方で求められている。新制度により約二十九百万円を捻出しているが、介護保険の対象にならない方への対策経費や、自立支援、介護予防、生きがい対策など各種事業に約五千八百万円計上しており、さらに拡充していきたい。また地域福祉計画の見直しを図る中で新たな展開を盛り込んでいきたい。

資源回収の報償金単価の増額見直しは

問 生き生きと輝くまちには町内会、子供会などの活性化が大きな要素である。資源回収実施団体報償金の単価の増額見直しを検討していただきたい。

答 一キロ十円は近隣と比較しても悪い額ではないが、増額も一つの方法だと思つて、一定回数以上を実施した団体にプレミアムでも出すことを考えてはいるが、今後そのような対応をしていきたい。

七夕まつりにおける 今年の企画は

問 七夕まつりの補助金は昨年比べて三百万円増額になつており、来年以降は本年に比べれば四百万円減額になるが、この考え方は、またこの企画はどうか。

答 市制施行三十周年で五十回ということと特別に三百万円を組んだものである。企画としては駅前到大竹通り、第一小学校に特設ステージの設置、熱気球、第三の七夕音頭による流し踊り、フリーマ

ーケット、写真展などを考えている。

不登校対策のための予算はどうなっているか

問 当予算で不登校をなくすための対策はどれで、前年度予算に比べ前年度はどこにあるのか。また予算編成に当たり不登校児に対する解決策への論議がされたと思うが、どう反映されているか。

答 金額的には不登校対策に要する経費としては計上し

ていない。市の予算では不登校を含めた全般的な教育相談として約六百万円、都からの派遣事業では約五百万円、このほかに東京都からの嘱託職員が五名いる。不登校については基本的には担任が家庭に入っていくことが一番重要なので、時間を割いて家庭訪問をやっていた。一方、相談の先生の中にも都の嘱託員、校長経験者、心理相談の先生もおり、連携を取りながら進めていきたい。

行革における 予算への影響額は

問 当市の行革で今回の予算の歳入歳出にどのような影響が出ているか。

答 財源の確保では、国保税の賦課限度額の改定と道路占用料の改定の二件で二千七百万円。経費の削減や節減は、経常的業務経費の削減、人件費の削減など十一件で一億二千五百二十二万三千円、合計一億二千九百五十二万三千円。そのほか職員の削減による給与削減等である。

瑞穂斎場への 今後の負担金は

問 瑞穂斎場の負担金については実施計画で平成十二年度は三千七百六十六万八千八百八十七円である。

問 瑞穂斎場の負担金については実施計画で平成十二年度は三千七百六十六万八千八百八十七円である。十三年度は一億一千百万円、十四年度が一億五千八百三十三万九千五百二十二万三千円、十五年以降、全体でどのくらいの負担になっていくのか。

答 概ね三十億円の斎場建設の予定で、現在は七十、七十二％を起債、また都の補助等を検討し、残りの約八億円を自主財源で進めていく計画になっている。

駅周辺駐輪場における 有料化の状況は

問 駅周辺放置自転車等対策費四千五百六十五万九千円の市民負担は幾らか。有料化前と比べ、当市では平成九年度を基準にしてどのくらい軽減になったのか。

答 市民使用料は平成十年四千五百五十五万九千円であった。平成十一年度は約九百三十三万円の財政負担軽減が図られた。十二年度では二千九百九十九万八千八百八十七円ほど見込まれている。

学童クラブの 事業費の内容は

問 学童クラブ事業関係の内容や、市の負担軽減、職員等の人数は、また有料化による市民負担額は。

答 委託料は八千九百四十七万九千円、指導員十五名の賃金は六千七百七十二万九千円、嘱託職員十八名を予定しており、賃金は千七百四十四万九千円。そのほか八クラブの備品購入として七十八万九千九百九十九円、運営費に児童の教材費が二百十六万九千九百九十九円、その他に消耗品、旅費等で四百四十二万九千九百九十九円。十一年度の負担額は一千三百三十九万八千八百八十七円である。

市内居住米軍人軍属 税制上の影響額は

問 市内居住の米軍人軍属の税制上の影響額はどの程度か。

答 基準日は十二年一月一日で対象者が二百八十三人おり、ごみ処理費は四百二十一万七千五百七十七円、軽自動車税の不均一課税は百五十八万四千四百六十六円、市民税は百三十五万九千九百九十九円、人件費は千八百六十四万四千四百

基地の騒音対策の 予算への反映は

問 横田基地の騒音対策は、国の施策も含めて当予算の中でどう反映されているか。

答 学校等防音機能復旧事業及び防音のための電気料金による防衛施設関連維持費等が事業費は四億一千九百九十九

高齢者への諸福祉施策 見直し等の理由は

問 敬老記念品もあわせ敬老金の見直しで二千数百万円減しており、介護保険料の新設、都の老人福祉手当見直し等で、高齢者には負担になるが、見直しの理由等は。

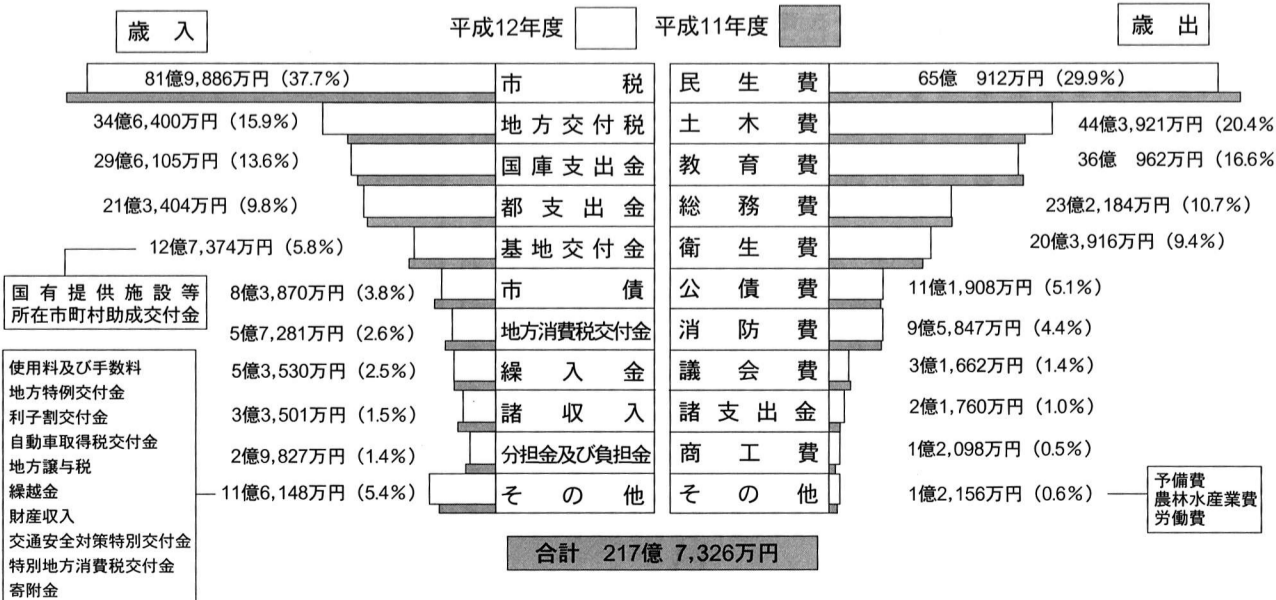
答 高齢化が進み、対象者も増加する中、今後金銭給付が確実にできるか懸念されている。また介護保険制度により従来の高齢者福祉施策が大きくさま変わりする中で高齢

平成12年度 各会計予算規模 (人口 12.1.1現在 62,206人)

会計区分	12年度	前年度比%	市民1人当たりの額
一般会計	217億 7,325万9千円	2.8	35万 0,019円
特別会計			
国民健康保険特別会計	35億 1,839万8千円	0.5	5万 6,560円
老人保健医療特別会計	31億 4,006万6千円	-1.1	5万 0,478円
介護保険特別会計	14億 5,279万3千円	皆増	2万 3,355円
下水道事業会計	34億 2,174万7千円	13.8	5万 5,007円
受託水道事業会計	7億 3,450万9千円	-16.9	1万 1,808円
総合計	340億 4,077万2千円	7.2	54万 7,227円

平成12年度 一般会計予算の内訳

() 内の数字は合計に占める割合



一般質問 (要旨)

市政のことが聞きたい

今定例会では、十二人の議員が一般質問を行い、市政全般にわたり市長にただしました。四面から六面にその主な項目を掲載しましたが、紙面の関係から、すべての項目が記載できません。詳しくは、会議録を図書館でご覧ください。
なお、この一般質問の内容は、質問議員に確認しています。

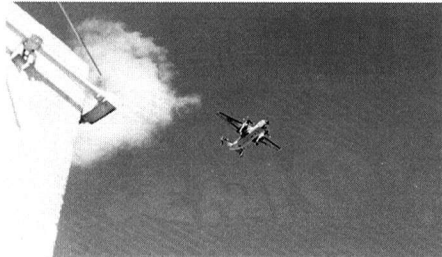
空母キティホーク離着陸訓練

市長の見解は

遠藤洋一 議員

質問 昨年十二月議会で市長は、一年間離着陸訓練がなかったことについて、基地が考慮してくれたのではという答弁だったが、本年二月のキティホークの離着陸訓練は昼夜に及び、三日間で八百回と最大級レベルの訓練となった。苦情件数も八十一件を数え、配慮もない残念な結果だったが、市長の見解を伺いたい。

市長 今回二月四日の通告は訓練内容等記載が不十分だったので国に問い合わせ、九日には横田基地等に出向き、特に受験時期でもあり、ぜひ中止してほしい旨要請した。二月十五日の訓練開始直前、



▲受験時期は中止を熱望される飛行訓練

質問 昭和三十五年(中略)に身体障害者雇用促進法が施行され、官民ともに障害のある方の雇用率が義務づけられたが、その中には職員になった後に障害者になった場合も含まれる。また当庁舎の形態から二階以上へ車いすが行けないし、他の職場でも非常に働きにくい実情がある。法の精神からまだ遠く、障害者を市でも雇用することは、地域等で障害のある方の働くチャンスをふや

市職員への障害者雇用をどう考えているか

質問 昭和三十五年(中略)に身体障害者雇用促進法が施行され、官民ともに障害のある方の雇用率が義務づけられたが、その中には職員になった後に障害者になった場合も含まれる。また当庁舎の形態から二階以上へ車いすが行けないし、他の職場でも非常に働きにくい実情がある。法の精神からまだ遠く、障害者を市でも雇用することは、地域等で障害のある方の働くチャンスをふや



▲きょうも元気で学校へ行く子どもたち

質問 ①本市におけるいじめ、不登校の原因と状況はどのようなものか。また相談・指導等で学校へ復帰した事例や今後の対応は。
②市内の通学路、スクールゾーンの点検、確認体制はどこで行っているのか。また安

いじめ・不登校や通学路の現状と取り組み

石川和夫 議員

質問 ①本市におけるいじめ、不登校の原因と状況はどのようなものか。また相談・指導等で学校へ復帰した事例や今後の対応は。
②市内の通学路、スクールゾーンの点検、確認体制はどこで行っているのか。また安

全対策の各種要望にどのように対処し、関係部課との検討会の状況は。
教育長 ①平成十年度の不登校は小学校二十名、中学校七十三名で、主な原因は親子関係、学業不振、友人関係などである。安定して学校に復帰した例は小中学校とも数例あった。いじめ問題は平成十年度小学校四件、中学校十一件で、言葉のおどし、仲間はずれなどである。今後も相談活動を中心に、家庭との連絡を取り、相談員の学校派遣、スクールカウンセラーのPR、研修の充実等していきたい。
②検討会のまとめの中で、教育委員会は定期的に学校、PTA等と共同して交通標識・道路舗装の点検等をするこ

ととしている。通学路やスクールゾーン等、児童・生徒に関する要望は教育委員会受けて、関係部課に依頼を依頼している。また、検討会は計四回開催し、スクールゾーン規制時間等の状況、現状を踏まえた問題点等がまとまったので、学校、PTA等に周知し、今後も必要に応じて開催したい。

スタート間近な介護保険制度の準備と対応は

質問 四月からスタートする介護保険制度については、昨年十月から申請受け付けが開始されたが、現在までの申請、調査、認定審査等の状況はどうか。また認定による介護サービス、ケアプラン作成等の状況と、実施までの今後の対応について伺いたい。

市長 平成十二年二月現在の申請件数は約八百人の見込みに対し六百七十九件、うち六百一件は訪問調査が終了、主治医の意見書は五百八十七件の回答が来ている。認定審査・判定は五百四十五件が終了し、順次介護認定通知書を発送している。介護サービス利用を事業者へ申し出る時に、「居宅サービス計画書」の作成依頼が必要であるが、アンケート調査の中でその必要性が理解されていない面があったので、指導してきている。開始までの対応としては四月から利用できるように調査票と主治医意見書の回収を早めたい。また支援事業者と連携を密にとりながら居宅サービス計画書の作成漏れのないようにしたい。

高齢者の歯の健康づくりの取り組みを

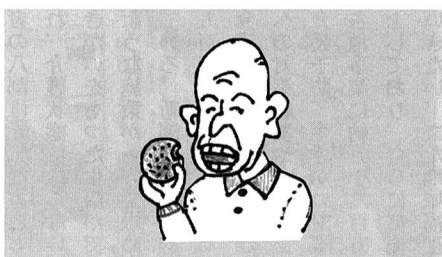
乾 栄三郎 議員

質問 都は平成十二年度の新規事業「健康づくり推進事業」で、生活習慣病を予防する観点から高血圧、糖尿病などを、歯周疾患を地域医療機関の指導が受けられるようにメニュー化した。長寿化社会のほけ防止、予防介護等の面から歯を丈夫に、老年になるまで保つことは重要であり、積極的な対応が望まれるが、市としての取り組みは。

市長 長寿社会を迎え、高齢者の健康をいかに保つていくかを問われる今日、歯科保健は重要である。平成五年の調査で一人平均の保有歯数は五十歳二十三本、七十歳十一本、八十歳以上八本で、高齢期の健康な食生活に大きな影響を与え、一度失った歯はもとに戻らず、早期の歯周疾患の検診と、改善指導は意義がある。都の「健康づくり推進事業」の歯周疾患改善指導事業については、十二年度の新規事業であるが、詳細がわかり次第検討していきたい。

お年寄りにやさしい街 福生を

質問 ①JR福生駅のエスカレーターや、今完成のエレベーターは、立派なものができ上がったが、「お年寄り」にやさしい街、福生として引き続き牛浜駅のバリアフリー化を検討してもらいたい。



▲じょうぶな歯でいきいきライフ

質問 ①JR福生駅のエスカレーターや、今完成のエレベーターは、立派なものができ上がったが、「お年寄り」にやさしい街、福生として引き続き牛浜駅のバリアフリー化を検討してもらいたい。

②昨年十二月火災に遭った熊川の銭湯のかわりに、近くの福祉センターの風呂を六十歳以上のお年寄りであれば時間内に自由に利用できることであるが、時間延長の要望があるかどうか。
市長 ①駅舎を初め主要施設のほとんどはJRの財産に帰属するので、基本的にはJR側が整備すべきものである。そのため駅舎のバリアフリー化は西多摩地域広域行政圏協

ごみ減量の見通しと現状は

小嶋英男 議員

質問 ①戸別収集後の状況と、飲料用のデポジット制(飲料容器の回収効果を目的に一定の預かり金を価格に上乗せし、買った人が空き容器を返却すると預かり金を払い戻すシステム)もごみ問題の対処の一つである。有料化も含め将来に向けてのごみ減量の見通しは。
②PTA、子供会等での新聞、瓶類等の回収にどの程度の報償金を出しているのか。また単価を上げることで回収団体が増加し、市の収集作業が減少すれば一挙両得と思うが、地域での資源回収の現状と今後について伺いたい。
市長 ①新体制後の状況を昨年同期と比較すると総量で約十一パーセント減、資源総量では約三十三パーセント伸び、有害ごみ回収量も増加し、市民の皆様が積極的に



▲行政と市民が力合わせてごみ減量

質問 ①通称多摩橋通りは昭和三十六年に都市計画道路に決定されているが、多摩橋から新奥多摩街道までしか完成していない。特に重要な箇所である青梅線の立体交差点を含め残り二分の一が未整備である。現地調査を実施し東京都と調整を図っていると聞いているが、どうなっているのか。
②市道第一一三七号線(中福生陸橋下から金堀公園手前まで)は、沿線に約五十世帯あり、通り抜けできない道路で、防災上も危険である。用地買収が進み、工事が行われるとのことであるが、どのよ

多摩橋通りの整備の進捗状況は

質問 ①通称多摩橋通りは昭和三十六年に都市計画道路に決定されているが、多摩橋から新奥多摩街道までしか完成していない。特に重要な箇所である青梅線の立体交差点を含め残り二分の一が未整備である。現地調査を実施し東京都と調整を図っていると聞いているが、どうなっているのか。
②市道第一一三七号線(中福生陸橋下から金堀公園手前まで)は、沿線に約五十世帯あり、通り抜けできない道路で、防災上も危険である。用地買収が進み、工事が行われるとのことであるが、どのよ

2000年「子ども読書年」の対応は

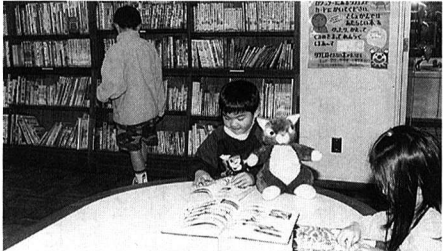
沼崎満子 議員

質問 ①子供にとって良書に触れることは生きる勇氣や思いやりの心を育む上で重要である。特に幼児期での読み聞かせはその後の成長に大きな影響を与える。子供の本離れが深刻な問題となっている中で、家庭での読書をサポートし、良書を子供に手渡すための図書館の役割は重要だと思いが、市の対応は。

②幼児教育、学校教育の面から2000年子供読書年に向けての計画は。

教育長 ①図書館では読み聞かせや絵本原画展などの講演会を既に開催している。また団体貸出しとして小・中学校や団体に搬送貸出しを行っており、今後も支援の充実と子供向け図書を整備を図ってまいりたい。

②児童館でも幼児期を対象に本の読み聞かせを実施しており、読書年にあわせて事業充実を図りたい。また小学校では国語の時間で週一時間程度読書指導や図書館利用指導を行っており、小・中学校ともに各教科・領域において資料調べなどに学校図書館を活用



▲子どもたちが本に親しむ環境づくりを

交通バリアフリーの取り組みは

質問 ①お年寄りや障害者にやさしいまちづくりを支援するための交通バリアフリー法案が国会に提出された。成立すればこの秋にも施行される。福祉のまちづくりが一段と進むと思われる。同時にすべての人にとっても便利になると思うが、当市はどのように取り組んでいくのか。

②交通空白地域のため、ミニバス導入のための検討委員会を設置する考えは。

市長 ①当市の福祉のまちづくりの取り組みは、東京都福祉のまちづくり条例に基づき、公共施設等について逐次改修を進めており、民間事業者にも一定規模以上の不特定多数の利用する施設の新設や改修についてはバリアフリーの対策を講じていただくようお願いしている。すべての人にやさしいまちを目指しており、今後は法の目的や理念に基づき交通のバリアフリー化に取り組んでいきたい。

②市内循環バスの導入については将来的な課題として考えていることから、ミニバス導入についてもしばらく時間をいただきたい。

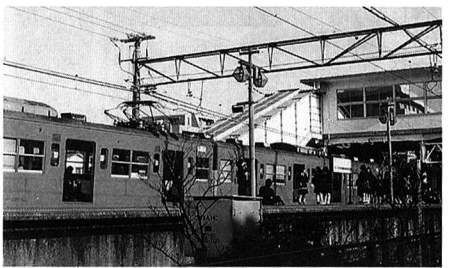
牛浜駅に屋根と階段の増設を

原島貞夫 議員

質問 ①牛浜駅の階段は福生駅側にはなく、また屋根がないので雨の日には大変困っている。階段と屋根の増設をJRにお願ひしていただきたい。

②牛浜駅周辺には公共施設が多く、高齢者、障害者対策として駅の両側にエレベーターの設置ができないか。

市長 ①これまでも機会あるごとにJRには要望している。昨年十月に西多摩地域広域行政圏協議会としてJR八王子支社に要望したが、この種の施設改善は八王子支社管内でも非常に多く、経営を考慮しながら優先すべきところから順次進めているとのこと。早急な改善は望めないが、引き続き要望したい。



▲屋根の設置が待たれる牛浜駅

旧奥多摩街道と五日市街道の歩道の整備を

質問 ①旧奥多摩街道は国道十六号線の迂回車両も加わり交通量が年々増加し、自転車や歩行者の安全が脅かされている。歩道部分は雨水排水溝の蓋の継ぎ目に穴があり、段差もあるので危険であるが、かやと橋から旧片倉跡地までを平坦歩道にする予定はないか。またほたる公園上部は転落防止柵がなく危険なので、この整備計画も伺いたい。

②五日市街道も蓋かけ歩道で旧奥多摩街道同様に危険であるが、牛浜橋から青梅線踏切までの踏切を含めた歩道の改修予定はないのか。

市長 ①西多摩建設事務所には再三要望しているが、旧奥多摩街道全線の拡幅を伴う歩道等の整備計画はなく、当面はすいすいプラン一〇〇事業の推進と、危険な歩道等は補修で対応したいとのことである。なお引き続き早期の補修方を要望したい。ほたる公園上部は転落防止柵の設置が可能かどうかを確認したい。

②旧奥多摩街道と同様に再三要望しており、一部暫定的に蓋かけ部分の段差補修や交通規制標識の移設等の対応が図られている。都では財政的に早期対応が困難な状況にあるが、引き続き要望したい。

学校評議員制度と総合的学習の時間導入の取り組み状況等は

青海俊伯 議員

質問 ①学校評議員制度は十二年度からの制度化を目指して準備中だと思う。他市に先駆けての導入となるが、期待値と今後の方向性を明確にするため、取り組み状況と期待効果を伺いたい。

②総合的学習の時間は十四年度から完全施行されるとのことだが、現在は移行時期で教育現場では試行錯誤されていると思うが、進捗状況と期待効果を伺いたい。

教育長 ①国の制度化に伴い四月からの施行を目指しているもので、各校での開始は準備でき次第、年度中にと考えている。取り組み内容は学校運営全般にわたる計画、実施状況、評価について学校が情報を発信し、校長が評議員の意見を伺うということ、校長が主体的に学校運営を行うにあたっての評議員からの意見を生かすことが本制度の趣旨である。特色ある学校づくり、多様性に富む教育の推進、健全育成の一層の推進などが期待されている。



▲総合的学習への取り組み始まる

よりよく問題を解決する力を育てることをねらいとして期待しており、市教委でも資料作成や研修会などを行い、各校でも時間割表や指導計画の立案などに取りかかっている。

介護保険サービス基盤整備の現状は

質問 ①昨年十月から認定作業が開始され、認定後のケアプラン作成にかなりの対象者が入っていると思うが、サービス基盤整備の現状の数値を伺いたい。

②ケアプラン作成の集積としてサービス量が決定するが、計画していた当初見込みのサービス基盤整備での過不足は生じてないか。生じる可能性はないか。

市長 ①ホームヘルパー等の事業の進捗状況は、居宅サービスでホームヘルパーは五十％、訪問入浴二十％、訪問看護百％、デイサービス百％、ショートステイ二十％で、施設サービスでは特別養護老人ホーム百％、老人保健施設ゼロ％である。

②認定後、申請者はケアプランを作成するが、このケアプランの集積により各種のサービス量を把握できることになる。国民健康保険連合会ではケアプランと事業者からの請求書を突き合わせ、サービス料の支払いを済ませた後、市に明細が送付されるので、サービス量の把握は六月ごろになると想定している。

中学校給食 その後の進捗状況は

羽場 茂 議員

質問 ①前回の十二月議会の答弁で、中学生の昼食に関する実態調査を実施したとの報告があり、近隣市の実態調査及び生徒・父母の意見聴取も時期を見て実施していくとのことだったが、その後のどのような進展があったのか。

②昨年六月議会で、「中学校給食は二十世紀中に方向を出す」とのことであったが、残すところ十月月でのような予定で方向性を出すのか。

教育長 ①再三質問をいただいており、引き続き調査、検討中であるが、本年二月に「弁当併用外注給食方式」を中学校二校で試行している立川市を視察したところである。その際、感じたことは、一つは衛生管理を基準どおり実施する委託業者かどうか業者選定に重要であり、希望どおり調理業務を受けてくれる業者が市内、または周辺にいないかが課題である。二つには喫食率の状況で給食調理等の委託料引き上げにもつながり、給食運営は厳しい状況にある



▲中学校給食その後の状況は

ようであった。②引き続き学校並びに保護者等の意見聴取を行いつつ、当市に適した方式について慎重に検討していきたい。

清水坂下交差点の交通安全対策を早急に

質問 南田園の清水坂下交差点は急なカーブと急坂、見通しの悪さ、路肩の駐車などが重なり、通過車両にとっても、歩行者、特に通学児童にとっても危険である。地域住民の再三の要望で早速注意喚起する看板を取りつけてもらったが、根本的な解決には至っていない。早急に安全対策を講じてもらいたい。

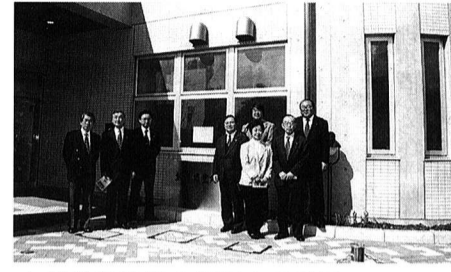
市長 清水坂以南の田園七号線改良工事の二月末完了に伴い、その開通後の同交差点における交通安全対策であるが、先日、交通管理者である福生警察署と現地では対応を協議した。当面、交通規制の面では新奥多摩街道側からの進入車両に対しては交差点手前に「左折注意、スピード落とせ」、さらに「この先横断歩道、歩行者に注意」の看板を設け、また交通安全施設の面ではカラー舗装を施すこととした。今後はカーブミラーの設置、さらに同交差点南側の隅切りの拡幅も視野に入れ、信号機の設置も要望していきたい。いずれにしても開通後の実情を調査した上で、対応を図りたい。

委員会の審査から

厚生委員会

今定例会の常任委員会では、付託された議案と陳情、及び継続となっていた陳情の審査が、三月十三日、十四日、十五日の三日間、厚生・建設・総務の順で行われました。また、議会運営委員会は、今定例会に於いて、五回行われました。ここでは、各委員会から報告された主な議案の審査概要をまとめました。

厚生委員会



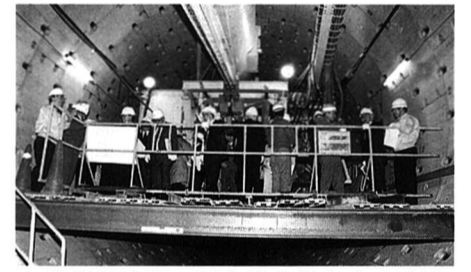
▲熊川児童館を視察する委員

一部を改正する条例
意見適用にあたっては、慎重な対応をしていただきたい。
◎福生市国民健康保険税条例の一部を改正する条例
問 限度額四十六万円を五十万円に変えることによるペナルティーは。
答 平成十一年度の都の補助金で試算すると、概ね千三万八千円ほど減額である。
問 限度額変更による世帯の変化はどのくらいか。
答 三百三十八世帯になり五十一世帯の減である。
問 限度額を上げることにによる滞納の影響は。
答 休日窓口の開設、訪問滞納状況の把握の充実に努める。
問 滞納者に対する資格証は。
答 発行していないが、短期保険証による滞納対策を実施している。
◎福生市介護保険条例の改正する条例
問 節目贈呈に変えた理由は。
答 長寿に応じた金額を支給したい。
問 他市の状況は。
答 十七市が節目贈呈であり、十二年度において四市が廃止の予定である。
◎福生市国民健康保険条例の

◎福生市介護保険円滑導入基金条例
問 六条二の処分について。
答 徴収方法変更による市民へのPR、パンフ購入、保険料のプログラム変更等、事務費という形で交付がされている。
問 経過措置三年とは。
答 保険料軽減による影響は十三年限りということである。
問 三条二項に「有利な有価証券に代えることができる」と考える。
問 高額介護サービスとは一から五まで以上の人のことか。
答 介護サービス費というのは高額医療費と同じに考えてよい。
問 パンフ配布委託料は何世帯に配付するのか。
答 二万七千五百世帯の見込みである。
◎福生市介護給付費準備基金条例
◎平成十二年度福生市老人保健医療特別会計予算
この外、陳情三件を継続して審査することになりました。

建設委員会

田七一号線、プチギャラリーの現地視察を行ったあと、付託された議案七件の審査を行い、次のような質疑・答弁があり、それぞれ原案のとおり可決されました。
◎福生市下水道使用料条例の一部を改正する条例
過料に関する規定について、詐欺、その他不正な行為によって使用料の徴収を免れたものに対し、徴収を免れた金額の五倍に相当する金額以下の過料を課すことができますが、今回は五倍に相当する金額が五万円を超えないときは五万円とする改正です。
問 五倍に相当する金額が五万円を超えない場合は五万円ということだが、五万円を超えることは想定できるか。
答 五万円を超えることも想定できる。その場合は、その超えた金額ということになる。
◎平成十一年度福生市下水道事業会計予算(第三号)
問 多摩川上流下水道維持管理負担金について聞きたい。



▲産業道路下の雨水管を視察する委員

◎福生市下水道使用料条例の一部を改正する条例
問 下水道使用料徴収委託料の減額について聞きたい。
答 分筆した土地への設置は自己負担となり、公費での設置は減っている。
問 下水道使用料徴収委託料の減額について聞きたい。
答 東京都が水道料金と一緒に徴収するもので、納付書の枚数により計算する。
◎福生市都市計画審議会条例の一部を改正する条例
◎福生市下水道条例の一部を改正する条例
◎平成十一年度福生市一般会計補正予算(第二号)
◎平成十二年度福生市下水道事業会計予算
◎平成十二年度福生市受託水道事業会計予算
その他に陳情二件を審査しましたが、いずれも継続となりました。

総務委員会

プチギャラリーの現地視察を行いました。この議会だよりが届く頃は開館しているのではないのでしょうか。
視察を行った後、付託された議案八件の審査を行い、それぞれ原案のとおり可決しました。
主な質疑、答弁は次のとおりです。
◎福生市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例
問 育児休業の年間の対象者数はどのくらいなのか。
答 年間では二、三名程度である。
◎福生市非常勤の特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
問 新たな相談員や嘱託員について。
答 介護相談員は、特に資格は必要ないが、福祉に知識を有する人を対象としていく。当面は一名として状況によりふやすことも考えている。相談業務は来所、電話、また相談者宅へ訪問して状況確認をしていく。水道事務所保全業務嘱託員は、定年退職する職員で業務に習熟している人にお願いをしていく。児童保育事務嘱託員は、今後の急激な制度改正に対応していくものである。
◎福生市の一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
問 廃止されるホームヘルパーの人数と職務内容について。
答 障害者と高齢者兼務で二名実施しているが、本年四月から技能職から一般職に任用替えとなる。
職務は主に障害者のホームヘルプサービスや介護保険の対象にならない生活支援のホ



▲改装されたプチギャラリーを視察する委員

ームヘルプサービスの取り組みが出てくることから、そのような対象者に対して必要なサービスの計画づくりや登録ヘルパーの指導、相談等である。
◎福生市図書館協議会条例の一部を改正する条例
問 読む側の意見を反映させるために高校生を委員にしているかどうか。
答 地域の実情に応じて多様な人材を登用するということになりました。
.....

議会運営委員会

議会運営委員会は、本会議初日の八日前及び開会中に開催され、議会の日程、議案や陳情等の審査の順序、委員会への付託・即決の決定のほか、福生市議会の議員定数条例、編集にあたっては、定例会中の重点は何であったか、また紙面全体の割り付けをどのようにするか。掲載記事について、写真の大きさや位置について、読者の目を引きつける一面の大見出しは何にするか等について協議しました。
また今回から、各委員会の審査の内容を多く掲載し、市民の皆さんにお知らせするために、委員会のスペースを大きくとることにしました。



▲本会議の進め方を協議する委員

特別委員会活動から

横田基地対策 特別委員会

平成十二年三月二十二日に
委員会を開きました。

理事者から①平成十一年度
防衛補助事業実施状況として
市道幹線Ⅱ一十九号線他一路線
の舗装補修工事で延長一〇七
九メートルの工事。下の川緑
地(仮称)新設事業で五八三
四平方メートルの用地買収。
第三分団の消防ポンプ車の買
い換え。一・三・五小及び一
中の防音機能復旧事業。福生
駅西口市営駐車場(仮称)新
設事業で三七〇平方メートル
の用地買収。市道田園七一号
線及び一・二五号線他一路線
改良事業で一八一平方メート
ルの用地買収と四五六メート
ルの工事を実施した。



▲基地問題を話し合う委員

②平成十二年度の基地関係国
予算として、防衛施設庁所管
分で一四六二億七千万円、自
治省所管分で二九一億五千万
円となった。

③平成十二年防衛補助事業
実施予定として、下の川(仮
称)新設事業で四五九七平方
メートルの用地買収と実施設



▲高架化された五日市駅を視察

④平成十二年防衛補助事業
供施設整備実施計画として、
横田基地内で発生する可燃ご
みを焼却する施設の改築で廃
棄物処理法に対応するため日
量処理能力二十トンの施設の
工事。管理棟として大学事務
局の施設・飛行業務を管理す
る施設、犯罪等の調査を行う
管理施設の新設。滑走路の改
修。航空機火災に対処するた
めの消火訓練施設の新設等十
施設の建設及び改築工事につ
いて。

⑤空母キティ・ホーク艦載機
の着陸訓練について、二月四
日に防衛施設庁から横田基地
で二月十五日から十七日の間
に訓練を実施するとの連絡が
あり、市としては直ちに中止
要請をするともに、二月九
日に基地対策特別委員会代表
及び理事者とともに横田基地
等に出向き強く中止を要請を
行った。

⑥横田基地における正月三箇
日及び日曜日、祝日の飛行停
止について、市民が騒音のな
い静かな正月三箇日を過ごせ
るように、毎年要請を行って
きているが、十一年度につい
ても、昨年十二月に基地司令
官並びに国に飛行停止の申し
入を行った。その際、基地側
としてはできる限り努力をし
たいとの回答があった。また

今年にはコンピューターシステ
ムのY2K問題で安全性の確
認徹底と、事故防止に万全を
期されたいという要請も合わ
せて行った。

このような報告の後、委員
から、福生駅西口駐車場整備
について、プールの改良につ
いての質疑があり、理事者よ
り駐車場については平成十一
年から十三年度に用地を取得
し、それ以降に平面利用では
なく立体的に有効利用して多
くの車両が駐車できるように
整備をしていきたい。五〇メ
ートルプールの内面の改良工
事と、水の濾過機の老朽化に
よる機械室の新設やプールサ
イドの工事等を実施するもの
であるとの答弁があり、委員
会を閉会しました。

い、調査完了した箇所から用
地交渉を進めている。また第
二区間である内出東交差点か
ら国道一六号線までの間は、
現在本年三月末を目標に用地
測量を進めている。第二区間
の用地説明会は十二年度内に
開催したい旨の説明が東京都
からあった。このようなこと
から、全区間において事業化
が図れることとなったとの説
明がありました。

三・四・五号線(新奥多摩
街道)については、内出交差
点から片倉跡地手前まではす
でに東京都施行により事業が
完了している。片倉跡地から
JR五日市線の立体交差を含
み、玉川上水までの約三〇〇
メートルを拡幅整備するもの
である。現在用地交渉を進め
ており、平成十、十一年度で
六件の地権者から用地買収の
協力が得られている。東京都
では十三年度までには用地買
収を完了させていきたいとの
ことである。工事については
当面平面交差で十六年を目途
に取り組んでいく予定である
との説明がありました。

なお、今後の予定について
は設計書をもとに本年夏ごろ
までに用地幅杭を入れ、用地
測量に入ると聞いていたとの
の説明がありました。

委員より陸橋通りと一六号
線の進捗状況が合わないとい
ふ点の整備は難しいのではな
いかとの質疑があり、理事者
より、始点の小荷田交差点の
みではなく、陸橋南詰交差点
の方からも始めていきたい、
安全を確保しながら進めてい
くとの答弁がありました。

また、委員より新奥多摩街
道について、権利者は何人か
との質疑があり、理事者より、
権利者は三十五件、物件とし
て十七棟であるとの説明があ
りました。

その後、理事者より、都道
杉並・あきる野線(陸橋通り)
の区域変更についての説明が
ありました。

平成十二年一月二十四日に
委員会を開催し、移管された
後の福生病院の名称の検討結
果が報告されました。

名称については、移管準備
室において病院名の募集を平
成十一年十一月一日から十一
月三十日の間に二十五箇所の
投函箱を用意し、またはがき、
FAX、メールでも受け付け
をし、四百四十六件の応募が
あった。

その後、福生・羽村・瑞穂
地区医療問題連絡会を開催し、
移管準備室で集計・分類した
資料に基づき候補対象となる
名称の選定作業を行い、名称
を三案に絞りこみ、その案を
もって、平成十一年十二月二
十二日に外部審査委員(公立
阿伎留病院・青梅市立病院、
西多摩医師会事務局長、多摩

福生病院移管対策
特別委員会

川保健所所長、二市一町社会
福祉協議会事務局長)に選定
を依頼。

その選定結果及び意見を基
に平成十一年十二月二十七日
に二市一町の首長に報告。翌
二十八日に二市一町の首長の
選考により「公立福生病院」
とするので合意され、今後、
一部事務組合の中で正式決定
をしていくものである。

今後、現福生病院が公立病
院となれば建物の改築、修繕
やまた高度医療等の整備を行
う関係等、公営企業法に基づ
いて一般財源相当分について
は二市一町での負担が原則で
あり、ある意味では健全運営
ができるかと考えているとの説
明がされました。

その後、平成十二年三月一
日に委員会を開催し、委員会
の設置目的が達成されたこと
から、平成十二年三月三十一
日をもって福生病院移管対策
特別委員会を解散することを
決定して閉会しました。

平成十二年第一回定例会が
終了しました。

この定例会で最も大きな案
件としては、平成十二年度予
算の可決であつて、特に一般
会計予算につきましては、六
年ぶりに増額予算になりました
が、その内訳を見ますと、
地方交付税が約二十%の伸び
を見せており、財政の健全性
という面では弱体化と言える
かもしれません。また、地方
分権がよく言われますが、こ
の定例会にて、それに関わる
案件が大変数多く可決されま
した。行政運営上大きな変化
はありませんが、形として表
に出てきた、そのような感じ
がいたします。

この三月議会は石川市長に
とって最後の定例議会となり
ました。市長と私も議会では
基本的に立場が違います。
行政運営の責任者とその内容
を監察する者という違いがあ
ります。しかし、石川市長の
全力で市政に取り組み姿勢は
誰もが認めるところではな
かったかと思えます。敬愛すべ
き市長で大変惜しまれての退
任であります。いつまでも御
健勝を願つてやみません。

議員二十年以上
遠藤洋一
小野沢久

議員表彰
東京都市議会議長会では、
議員として永年地方自治に功
績のあった方々を表彰してい
ます。
平成11年度においては、次の
方々が表彰されました。
(議席順)

議事を傍聴しよう。
次の定例会は6月7日(水)からの予定です。
本会議の傍聴はどなたでもできます。
くわしくは、議会事務局にお問合わせください。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。

編集後記
平成十二年第一回定例会が
終了しました。



▲二市一町移管を前に福生病院を視察する委員

議員表彰
東京都市議会議長会では、
議員として永年地方自治に功
績のあった方々を表彰してい
ます。
平成11年度においては、次の
方々が表彰されました。
(議席順)

議員二十年以上
遠藤洋一
小野沢久

議事を傍聴しよう。
次の定例会は6月7日(水)からの予定です。
本会議の傍聴はどなたでもできます。
くわしくは、議会事務局にお問合わせください。

551-1511
(内線 512)